

(2) 会計別予算規模

平成27年度当初予算の総額は897億6486万円で、その内訳は一般会計が611億円、特別会計が8会計（9勘定）で286億6486万円です。

前年度と比較すると、一般会計で4億円（△0.7%）の減額となりましたが、小中学校校舎の大規模改造事業や学校給食共同調理場整備事業などの進行中の大規模事業がある一方で、駅前再開発ビル建設工事の完了に供い、JR京成成田駅中央口地区整備事業が大幅な減額となったことによるものです。

また、特別会計で国民健康保険の事業勘定において22億円（16.9%）の増額となりましたが、これは保険財政共同安定化事業における対象医療費が拡大されることに併せて、拠出金が増額となったことによるものです。

【第1表 当初予算総括表】

（単位：千円）

会計区分		平成27年度 当初予算額	平成26年度 当初予算額	増減額	増減率 (%)	
一般会計		61,100,000	61,500,000	△400,000	△0.7	
特別会計	国民健康保険	事業勘定	15,327,152	13,111,318	2,215,834	16.9
		施設勘定	166,448	165,542	906	0.5
	下水道事業		2,128,415	1,968,608	159,807	8.1
	公設地方卸売市場		221,151	226,076	△4,925	△2.2
	介護保険		6,236,256	5,610,902	625,354	11.1
	農業集落排水事業		171,404	167,618	3,786	2.3
	後期高齢者医療		837,711	843,590	△5,879	△0.7
	簡易水道事業		550,778	442,380	108,398	24.5
	水道事業		3,025,540	2,973,245	52,295	1.8
	合計		28,664,855	25,509,279	3,155,576	12.4
総計		89,764,855	87,009,279	2,755,576	3.2	

【用語解説】

会計の名称

会計の名称		内容
一	般 会 計	市の基本的な行政を行うための会計です。
特 別 会 計	国 民 健 康 保 険	事業勘定では、被保険者の疾病、負傷、出産、死亡などに際し、必要な保険給付を行い、施設勘定では、大栄診療所の運営を行います。
	下 水 道 事 業	都市排水施設の整備を行い、市民生活の環境整備を図ることを目的としています。
	公 設 地 方 卸 売 市 場	青果物、水産物などの生鮮食料品を安定した価格で提供し、市民生活の向上を図ります。
	介 護 保 険	被保険者の要介護度などに応じて、必要な保険給付を行います。
	農 業 集 落 排 水 事 業	農業集落におけるし尿、生活雑排水などを処理する施設の整備を行い、市民生活の環境整備を図ることを目的としています。
	後 期 高 齢 者 医 療	75歳以上の後期高齢者医療に関する保険料の徴収などを行うことを目的としています。
	簡 易 水 道 事 業	給水人口5,000人以下の地区について、安全な水の安定的な供給を目的としています。
	水 道 事 業	給水人口が5,000人を超える地区について、安全な水の安定的な供給を目的としています。

※ 特別会計とは、特定の事業を行う場合に一般会計と区分して経理する必要があるときに設ける会計です。